

Ja-Net

April 2013 No. 65

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2013 年 4 月 25 日発行

- View from the Other Side 3
ムクンド・タティバムラ(インド)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
東京都台東区
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
韓国
- 教材紹介 6
『みんなの日本語 初級II 第2版 本冊』
『みがけ! コミュニケーションスキル 中上級のためのブラッシュアップ日本語会話』
『まとまりを作る表現—指示詞、接続詞、のだ・わけだ・からだ—』
『日本語教育叢書「つくる」テストを作る』
『日本語・日本語教育の研究—その今、その歴史』
- なんでも情報 BOX..... 8

スリーエーネットワーク

巻頭 寄稿

未来の日本語学習環境

島田徳子

武蔵野大学



2023 年、10 年後の日本語学習環境

2023 年 4 月、東京の桜の名所は大勢の外国人観光客でにぎわっています。ベトナム ABC 大学経営学部 3 年生のホンさんも、初めての日本訪問を満喫しています。ホンさんは、ベトナムの IT 企業が運営する大規模公開オンライン講座(MOOC=Massive Open Online Course: ムーク)が日本語で無料配信する 6 週間のコース「グローバル・ホスピタリティ入門」を受講し優秀な成績で修了しました。このコースの成績優秀者の日本訪問は、高度人材の育成と交流を促進しようとするアジア各国政府、ベトナムに進出している日本企業、留学生招致に力を入れる日本の大学の助成金によって実現しました。受講するには、日本語能力試験 N1 合格以上の日本語能力が必要ですが、その他の要件は特に指定されていません。大学の単位認定はありませんが、6 週間の講座期間内に設定された課題をすべてクリアし、手数料を納めれば、修了証をもらうことができます。ベトナムでは、日本への留学や日系企業への就職の際、この修了証は高く評価されるので、年々受講生が増えています。

2020 年の東京オリンピック開催以来、世界から日本のおもてなし文化が注目を浴び、「日本古来の精神世界から、現代の企業活動

に埋め込まれた様々なおもてなし精神について、理論や事例を通して探究する」というこのコースは、今では世界各地の多くの人々が登録しています。受講生のバックグラウンドは様々で、自国の日系企業で日本人マネジャーの元で働く外国人ビジネスマン、海外赴任中あるいはこれから海外赴任する日本人マネジャーなども受講しています。6 週間のコースは、前半の 3 週間は、オンライン講義の視聴、文献購読、掲示板でのディスカッション、知識確認のための小テストに取り組みます。第 4 週目は、それまでに学習した内容をふまえて、共通課題に取り組み、複数の文献を収集し分析したうえで自分の考えをまとめます。第 5 週・第 6 週は、各自テーマ設定を行い修了課題に取り組みます。ホンさんの取り組んだテーマは、「日本の企業活動における日本人マネジャーのサムライ精神について」でした。ホンさんは、今回の日本訪問をきっかけに、日本のいちは大学の大学院経営学研究科修士コースに留学することを決心しました。将来は、日本で就職して、アジアを舞台に活躍したいと考えています。

大規模公開オンライン講座(MOOC=Massive Open Online Course: ムーク)とは?

さて、2013 年、今の世界の話に戻しましょ

う。2013 年 2 月 22 日、東京大学(以下東大)は、米国コーセラ社(Coursera)との間で大規模公開オンライン講座(以下 MOOC: ムーク)配信に関する協定を締結し、9 月から東大の 2 講座を英語で配信するというニュースを発表しました。MOOC は、授業資料を無料公開する OCW(オンラインコースウェア)とは異なり、授業そのものを公開して、修了者に履修証を発行するのが特徴です。オンライン大学とも違い、多くの大学が参加して、科目ごとに履修認定を行います。世界中の誰でも無償で受講できるので、高等教育機関が整備されていない国を中心に多くの履修者を集めています。先にご紹介した 2023 年の学習環境は、今すでにある学習環境なのです。

コーセラ社は、2012 年 2 月にスタンフォード大学の教授たちが設立した企業です。2013 年 3 月現在の参加大学数は 62 大学で、233 の講義が提供されているそうです。登録者数は 270 万人と Facebook や Twitter 以上に急速に成長しています。「コーセラ」のホームページ <https://www.coursera.org/> を見てみると、講義は 24 のカテゴリーに分類され、英語・スペイン語・フランス語・中国語・イタリア語の講義があります。「英語、教育」で検索してみると、「英作文 1」「ライティン

グ2」などのアカデミックライティングのコースや、「e ラーニングと学習」「ビデオゲームと学習」などがあり、どれも魅力的です。

しかし、MOOC には課題もあります。まず、コースを最後まで修了できる人は、全体の1割にも満たないという現実があります。受講生のモチベーションの維持のためには、オンライン授業と対面型授業を組み合わせるという方法も一つの解決策になるかもしれません。現在、「反転授業 (Flipped Classroom)」という考え方が注目されています。「反転授業」とは、従来「学校の授業で先生から基礎的な知識を学んで、宿題として家庭で応用問題を解く」という方法に対して、学校と家庭の役割を反転させて、「家庭でオンライン講義を視聴しながら自分のペースで基礎を学び、学校の授業では応用問題に取り組み、ディスカッション中心の授業を行う」という授業形態です。また、収益化をどのように行うのかという課題もあります。実際にオンライン教育はバナー広告や動画内の広告、メールマガジン等で収益を得るサイトが多いようですが、コーセラは認定証の発行やカスタマイズ教材の販売などで収益化を図ると言われています。今後、収益モデルが確立できるか、その動向が気になるところです。

日本語学習環境の変遷

日本語学習環境も、教育や学習を取り巻く環境が変化する中、時代とともに大きく変化してきました。1980 年代に日本国内や海外において急成長した日本語教育は、現在成熟期を迎えています。1970 年代までは文法中心の言語学習観に基づいた教材が多く、言語構造重視の学習が行われていました。1980 年代に入って、コミュニケーション重視の言語学習観が広まるとともに、世界中で日本語学習者が増大し、学習者の多様性が認識され、学習者ニーズに合わせて様々な教材を組み合わせるコースデザインを行うという考え方が出てきました。デザインされたコースで主に使う教材を「主教材」、「主教材」を補うために使われる教材を「副教材」、教室活動を助けるために使われる道具を「教具」と呼ぶようになり、多様な「主教材」や「副教材」「教具」が開発されるようになりました。1980 年代は、ビジネスパーソンや年少者など学習者別の教材が作られるようになる一方で、教育現場にテレビやビデオ機器が普及し、多くのビデオ教材も作られるようになり

ました。1990 年代に入ると、学習者別の教材がさらに増え、海外でも教材が作成されるようになりました。また、第2言語習得研究 (Second Language Acquisition, 以後 SLA 研究) の知見も蓄積され、学習者の言語習得のメカニズムをふまえた効果的な言語学習のあり方が探究され、認知主義的学習観にもとづいた実践研究が増えていきました。コンピュータ機器も普及し、コンピュータで学べるマルチメディア教材も開発されました。

2000 年以降、SLA 研究にもとづいた認知的アプローチに加え、学習者が他者や道具を媒介として社会でどのように言語を使用していくかという社会文化的アプローチの必要性が意識されるようになりました。社会文化的アプローチにより、学習者同士のインタラクションや教室と社会の接続などを意識した学習環境デザインが行われ、インターネットを始めとする情報テクノロジーと融合した実践研究が増えていきました。このような学習観の変化によって、学習者の自律的な学びを支援する学習環境や教師のあり方についての研究も盛んに行われるようになりました。

また、2000 年前後には、オーストラリア (1998 年)、米国 (1999 年)、欧州 (2001 年) で言語学習に関する枠組み (スタンダード) が発表され、言語教育の社会的役割やコミュニケーション能力の定義、言語能力のレベルの設定や評価に対する考え方など、これまでの言語教育の集大成ともいえる言語教育の方向性を示した枠組みが相次いで公表されました。2010 年前後には、日本語教育の世界でも、これらの枠組みを参考にして作られたスタンダードが開発され、コースデザインを行う際の目標設定や教科書作成、学習成果の評価に活用され、共通の指標で日本語能力のレベルについて対話することが可能になりました。

未来の日本語学習を考えるために必要なこと

以上、未来を予感させる MOOC と日本語学習環境の変遷について述べてきましたが、未来の日本語学習を考えるためには何が必要でしょうか。1980 年代に紙で提供された絵カードは、今では CD-ROM 1 枚におさまり、教師が必要に応じて検索し印刷したり加工したりして活用するものとして提供されています。「主教材」としての教科書は、インターネット上の学習者用あるいは教師用リソースとともに活用する形態が一般的になってきて



CD-ROM 化された『みんなの日本語初級』の絵教材。



能力試験対策をアプリ化。単独でも書籍と併せても使用できる。

います。スマートフォン用のアプリも開発されています。

このような現状において、教室と教室外の学びをどのようにデザインするか、多種多様な学習リソースをどのように組み合わせたら学習目標を達成できるのか、良質な学習リソースを見分ける選択眼と学習環境をデザインする力を養うことがますます重要になってくるのではないのでしょうか。学習者も教師も各人がそのような専門性を身に付けられるのが理想ですが、現実的にはなかなか難しいそうです。学習リソースの評価や学習環境デザインを体系的に行う仕組みや、MOOC のようなデザインされた良質なコースを継続して配信できる仕組みを検討するとともに、それらのサービスを安定的に継続できるビジネスモデルを立案する段階に来ているのかもしれません。

本原稿執筆にあたって、重田勝介氏 (北海道大学情報基盤センター准教授、元東京大学大学院総合教育研究センター助教)、高橋薫氏 (東京大学大学院情報学環ベネッセ先端教育技術学講座 特任助教)、加藤久枝氏 (国際交流基金日本語国際センター司書)、村上吉文氏 (Japan Foundation Cairo Office 日本語教育上級専門家) に情報提供いただきました。

島田徳子 (しまだ・のりこ)

武蔵野大学 グローバル・コミュニケーション学部准教授

一般社団法人 経営学習研究所 (MALL) 理事

お茶の水女子大学大学院修士課程修了

東京大学大学院博士課程在籍中

日本 IBM (株)、国際交流基金を経て 2012 年 4 月より現職

著書:『デジタル教材の教育学』『職場学習の探究』共著 (東京大学出版会)、『教材開発』共著 (ひつじ書房) など

日本で知った新しい世界

プランを立てて実現する生活

—なぜ日本に住むことになったのですか？

当時勤めていたインドのコンピューターコンサルティング会社の仕事で、初めて日本に来ました。外資系金融会社のプロジェクトで6か月間滞在しました。外資系の会社だったので、日本での仕事も生活もすべて英語で問題がありませんでした。6か月間のうちに日本が気に入り、プロジェクト終了後も帰国せず日本で出来る仕事を探しました。

来日した当初は独身でしたが、インドで見合いし、妻にも日本へ来てもらいました。今ではインターナショナルスクールに通う9歳の長女、地元の保育園に通う2歳の長男がいます。

—日本の好きなところはありますか。

仕事でも普段の生活でもプランが立てやすく、だいたいその通りにできます。これは本当に新しい生活でした。インドではプランを立てても、なかなかその通りにいきません。それから、鉄道もすごいです。時間が正確ですし、インドの大都市と較べるとラッシュアワーも大したことありません。

—日本在住18年のあいだに、日本は変わりましたか。

来日の頃には地下鉄は南北線も大江戸線もありませんでした。六本木ヒルズやヒカリエのような高層ビルもありませんでした。東京では大きなことがいとも簡単にできているような感じがします。それも、私にとって日本の魅力のひとつです。

—ムクンドさんの日本語は上達しましたか。

日本語は上手くありません。18年も日本にいたのに恥ずかしく、引け目を感じています。これまで、だいたいのことは英語で大丈夫だったので、本格的に勉強しようという



ムクンド・タティパムラ

インド・ムンバイ出身の1971年生まれ。
1995年に、勤務先のコンピューター関連コンサルティング会社の短期出張で来日、日本在住18年。現在は外資系金融機関に勤めながら、東京・祐天寺(目黒区)のエヴァグリーンランゲージ・スクールで日本語学習を継続中。

気持ちにはなりませんでしたが、しかし、やっぱり本格的に勉強しようと思い、2012年の11月に初めて日本語学校に行きました。プレイメントテストと面接で、私のクラスは初級の後半、『みんなの日本語初級Ⅱ』からでした。そのときは単語が言えても、文で話すことはできませんでした。一生懸命勉強して、今は中級の教科書の真ん中ぐらいです。初めて教科書を見た時は難しさに「これは大変だ」と思いました。しかし、そのおかげでがんばれたし、上手になったと思います。

—日本の生活で、コミュニケーションの難しさを感じることはありますか？

英語ができればだいたい大丈夫でしたが、少しのすれ違いはありました。新宿駅で身振り手振りで、それと「NAKANO?」という単語だけで、ホームにいた日本人に聞い

てみました(この電車は中野駅に行きますか?のつもり)。すると、人差し指と親指で○を作り、ハンドサインで答えてくれました。インドではこのハンドサインは、ゼロという意味です。私は、ゼロだからこの電車は中野駅に行かないんだと思いました。後から知りましたが、人差し指と親指で作るサインは、日本ではOKという意味だそうです。

それと、会社では日本人の同僚とも英語で話しますが、日本人との話の中ではYES、NOをハッキリしたほうがいいと思っています。ハッキリさせないと、相手が誤解することがあるようです。

—ムクンドさんの夢は、なんですか。

日本は私の生活の拠点になっているので、これからも長く住みたいと思っています。

私は日本で結婚し、子どももでき、土地と家も買いました。私の夢は一旦叶ったと思います。次の夢は子どもの成長と将来です。日本での生活がより良くなるように日本語も勉強していきたいと思っています。

—ムクンドさんから見たインドと日本はどんな国ですか。

インドはとても大きく、また多様性と協調の国です。22の公用語、そして多様な信仰の人々が一緒に暮らしています。もし私がインドについて短い言葉で表現するなら、「多様性」「カラフル」「楽天的」。日本を私なりに表現すれば「完璧」「誠実」「チームワーク」です。

ムクンドさん、ありがとうございました。思いがけず来日した日本が好きになり、夢を叶えたムクンドさんが、さらなる幸せのプランを実現されるよう、陰ながら応援しています。



日本語ご紹介

国内編
東京都

日本文化を世界に発信

YANESSEN SCHOOL 代表取締役 町野恵一郎

私は日本文化を海外に発信する仕事の一貫として日本語学校を台東区の谷中に作りました。このあたりは谷中、根津、千駄木の頭文字をとった谷根千の愛称で呼ばれていますが、生活文化が色濃く残り、日本語を実践的に学ぶのに適した環境にあります。先日、ドイツの音楽家がテレビのインタビューで、「ドイツ語が分かるとドイツオペラの素晴らしさが、もっと分かるようになる」ということを言っていたのですが、私も同じような思いを持っていました。文化と言葉は密接な関係があると考えていて、それが設立の主旨でもあるのですが、時が経つにつれ、日本語そのものが日本文化なのではないか、と思うようになりました。私共では地域の特性を活かし、日本語教師と文化講師が連携し、学習者が文化体験を通して日本語を学べるように工夫をしており、現在 20 の文化体験プログラムがあります。近年、日本の漫画やアニメなど現代文化が世界で注目されていますが、中身をよく見ると伝統文化をモチーフにしているものが多く外国人の関心は日本の精神文化にあるように思うことがよくあります。

日本の伝統文化を体験するプログラムで一番人気のあるのは歌舞伎体験です。弁慶の「忠義」、助六の「粋」、など歌舞伎演目のキーワードである言葉の理解を目的に作ったのですが、隈取りをして本物の衣装を着る役者体験を楽しめるようにしたために、実際のところ言葉の学習は二の次になっています。料理体験では地域の商店で食材の買い物をしてから講師の家で料理を作ります。スーパーでは聞けない商店でのやり取り、調理特有の言葉を学習し、季節感を大切にす



します。地域の工房で行う陶芸体験では器の風合いを表す「ざらざら」「つるつる」などの擬態語も、器を手でさわ

り、口にあてて実感でき、同時に日本人の美意識や遊び心にも触れることができます。谷中には 70 を超える寺院があり「寺町」といわれていますが、後日お寺の茶室をお借りして、焼き上がった茶碗で一服という趣向も谷中ならではです。

上級者向けのプログラムに俳句体験がありますが、初心者でも参加が可能です。英国の婦人が参加したときのこと、彼女は詩人ですが日本語が全くできませんでした。それで婦人にはその日のテーマの「落ち葉」から浮かんでくるイメージを英語の詩にしてもらいました。以下は彼女が詠んだ詩です。

Falling leaves like flames
Burn river with twenty holes
Some sink.
Many float.

俳句の講師も英語が話せませんのでこれを学生が和訳し、それを講師が「浮き沈む

二十の巖 秋落ち葉 : Ukishizumu Nijyu no Iwao Akiochiba」の句にしました。英語



美意識と遊び心に触れる陶芸体験

の詩を即興で俳句にするのには豊富な語彙と技量が必要で、簡単ではありませんが、このプログラムを続けたいと思いました。理由は日本の若い人達にとっても良い経験になると感じたからです。私共の文化体験は必要に応じて学生が通訳ボランティアで参加するのですが、彼らの多くが留学先で「日本文化について訊かれ答えられなかった」という体験が応募動機になっています。俳句体験の時も英語力のある学生は、和訳することまではできるのですが、それを俳句にすることができません。このときに語彙が少な

いことに気付くのです。グローバル化の中で若者は英語を学び、世界の人々と交流しますが、そのときに自国の文化を知っていることが重要だということを早い時期に体験させたいと思います。時と共に言葉も変わって行きますが、日本人の精神となっている言葉を若い人が理解して、世界に誇れる日本文化を発信してほしいと願っています。そのために日本語学習の場に日本の若者が参加するしくみを作りたいと考えております。



テーマをもとに即興で俳句



海外編

韓国 ソウル



近くて遠い国—新しい時代に向かって

同徳女子大学校 石井奈保美

世界最多の学習者数

韓国は日本語学習者数が世界で最も多い国であり、韓国の日本語学習者の約90%は中等教育機関で学ぶ学生です。中学・高校での第二外国語の選択は、学習言語を学校が決定する場合も多く、日本に興味がないまま日本語を始めたという学習者も少なくありません。しかしながら、中・高での授業がきっかけとなって、日本や日本文化に興味を持つようになり、大学で日本語を専攻したという学生も多いようです。

私が勤務する同徳女子大学校の日本語科は1979年に設立され、現在310名の学生が在籍しています。韓国では、日本のアニメやゲーム等の大衆文化や日本の小説に関心があり、日本語を勉強しているという学生が多いのですが、私の勤務校も例外ではありません。また最近では、中・高時代に姉妹校や日本人と交流した経験が決め手となり、日本語を専攻するに至ったという声も耳にするようになりました。また、大学卒業後に日本語を使つての就職を希望する学生も多いですが、韓国経済の停滞や中国語の需要増加の影響もあり、なかなか厳しいのが実情です。

言語だけではない学習内容

私の勤務校では、総合的日本語教育を目指したカリキュラム作りに取り組んできました。例えば、1年生の必須科目に＜日本語学習法の理解＞という授業があります。これは外国語教育と習得理論の基礎を学び、学生が自分の日本語学習について段階的に学習計画を立て、進められるようにするための授業です。また、その学生なりの日本・日本人観を確立させるために、日本の生活文化、日本人の精神文化と言語行動について調査、

討論をする科目や文化間コミュニケーションの授業があります。学習者がこれらの授業を通して得た見識を文学や語学の授業で生かし、実際のコミュニケーション場面で応用させていくことを期待しています。

その他には、フィールドワークや学術祭、日本の大学との国際交流セミナーといった行事があります。フィールドワークでは、韓国国内の日本と関係がある遺跡や建造物などを回り、日本との交流の歴史について考えています。国際交流セミナーでは、日韓の学生が一緒になってグループごとにテーマを決め、調査や討論を通じて交流を深めています。

関係の深い両国だからこそ

最近、歴史・領土問題や東日本大震災、中国の台頭の影響から第二外国語として中国語を選択する学生や教育機関が増えていきます。さらに中等教育機関ではカリキュラム改訂が行われ、必須科目であった第二外国語が選択科目になり、日本語教師の供給過剰が指摘されています。これらの影響は大

学や語学スクールにも現れており、私たち日本語教師にとっては厳しい時期が続いています。

しかし一方では、2000年前後から民間レベルの交流が増えたことで、韓国の若者の日本・日本人観が多様化してきていることも感じています。両国の歴史から政治的要因や経済状況が日本語学習にも影響を及ぼしがちな国ではありますが、今まで以上に草の根交流が広がり、日本に関心を寄せる学習者が増えてくれることを願っています。そしてそのような学習者のお手伝いを少しでもできればと思っています。



学科行事のフィールドワーク



フィールドワークでの発表会。グループ別に調べたテーマを発表

教材紹介

みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊 第2版

B5判 本文 247頁 別冊 57頁 CD1枚付 2,625円
スリーエーネットワーク編著

第2版の本冊がそろいました

初級教科書の定番『みんなの日本語初級第2版』シリーズのメインテキストです。
これまでの整理された学習項目はそのままに、『Ⅰ』と同様に古くなった語彙を新しくし、
課の中の項目の提示順を整理しました。課をまたいでの学習項目の移動はありません。
なお、『Ⅰ』では形式を変更した練習Cですが、『Ⅱ』では初版と同じ形式を取っています。
『翻訳・文法解説』の各国版をはじめとした副教材は順次発行予定です。



『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版ラインナップ』

本冊	2,625円(税込)	翻訳・文法解説 イタリア語版	2,100円(税込)
本冊 ローマ字版	2,625円(税込)	翻訳・文法解説 ドイツ語版	2,100円(税込)
翻訳・文法解説 英語版	2,100円(税込)	翻訳・文法解説 ローマ字版【英語】	2,100円(税込)
翻訳・文法解説 中国語版	2,100円(税込)	標準問題集	945円(税込)
翻訳・文法解説 スペイン語版	2,100円(税込)	書いて覚える文型練習帳	1,365円(税込)
翻訳・文法解説 ポルトガル語版	2,100円(税込)	漢字練習帳	945円(税込)
翻訳・文法解説 ベトナム語版	2,100円(税込)	絵教材 CD-ROM ブック	3,150円(税込)
		導入・練習イラスト集	2,310円(税込)

みがけ！コミュニケーションスキル 中上級学習者のための ブラッシュアップ日本語会話

B5判 本文 180頁 別冊 40頁 CD1枚付 2,310円
清水崇文 編著

語用論に基づいた会話テキスト。 今、この状況で使う表現は？

上智大学 清水崇文

本書は、語用論の理論(発話行為とポライトネス)に基づいて、「相手と良好な関係を維持しながら、自分の意図をきちんと伝えることができる能力」を身につけることを目標に作成された中上級用会話教材です。8つのユニットを通して、許可を求める、依頼する、謝罪する、誘う、申し出をする、助言する、不満を伝える、ほめる、という発話行為を行うとき、その行為に応答するときの適切な言

い方が学べるようになっています。

本書が目指したのは、頻出表現の丸暗記や「丁寧な / くだけた表現」といった紋切り型の知識の習得ではなく、具体的な相手や状況に応じて自発的に適切な言い方を選ぶことができる柔軟な応用力の養成です。そのために、①適切さへの気づきを促す聞き取り課題(「聞いてみよう」)、②様々な表現・ストラテジーとその選択基準の体系的・段階的な学

Now Printing

習(「くわしく学ぼう」)、③具体的な文脈におけるコミュニケーションな会話練習(「話してみよう」)を通して、「気づく力」と「選択する力」が高められるような構成になっています。

例えば、「くわしく学ぼう」では、まずミニマムな表現パターンである<基本フレーズ>を提示し、それに様々な文法的・語彙的な変更を加えることによって、意図する丁寧度で発話行為を行う表現を作り出す過程を解説しました。続いて、相手の気持ちへの配慮などのために発話行為を行う表現とともに使われる各種のストラテジーが導入され、最終的には談話の流れの中でこれらを組み合わせる適切な発話行為を行う方法が学べるようになっています。また、発話の適切さに影響する複雑な状況要因をアイコン化したり、対話者や状況が一目でわかるようにすべてのモデル会話に挿絵を挿入するなど、楽しく効率的に学習できるような工夫もしています。

実生活の多様な場面に対応できるコミュニケーション能力を習得したいと望む学習者の皆さんに、本書を活用していただけたら幸いです。

まとまりを作る表現—指示詞、接続詞、のだ・わけだ・からだ—

B5判 本文 84 頁 別冊 15 頁 1,365 円
庵功雄・三枝令子 著



文法演習シリーズ最新刊！ 談話について考える

一橋大学
庵 功雄

本書は、レポートや論文を書くとき、プレゼンテーションをするときなど、まとまった内容について述べるときに必要となる文法的な材料についてまとめたもので、指示詞(コリア)、接続詞、それに、「のだ」「わけだ」「か

らだ」という形式を扱っています。

指示詞は日本語の初級教科書の最初で学びますが、文章や会話の中にあるものを指す「文脈指示」について学ぶ機会はほとんどないため、文脈指示の指示詞は学習者の誤用が多いものとなっています。接続詞は話の流れ(論旨)を明らかにするものであり、その使い方に習熟することは文章などを理解する上で重要です。また、「のだ・わけだ・からだ」という形式は、文の最後に付いて、その文をそれよりも前の部分と関連づける、接続詞と類似した機能を持っています。

本書を通じ、まとまった内容を日本語で自信を持って述べられるようになるでしょう。

日本語教育叢書「つくる」 テストを作る

A5判 本文 251 頁 1,890 円
関正昭・平高史也 編、村上京子・加納千恵子・衣川隆生・小林典子・酒井たか子 著



「つくる」シリーズ待望 の5冊目！ テストの作り方を具体的に紹介。

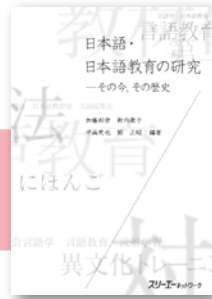
名古屋大学
村上京子

教室では何ができるようになることを目指して指導が行われたのか、学習者はそれができるようになったのか、読者が自らの教室活動をふり返り、それに合った評価方法を工夫し、実施、分析できるように、テストの準備から実施後の処理までのプロセスを解説しています。日本語のテストを数多く作成・実施

してきた5人の筆者が経験に基づき、「話す」・「書く」の産出能力、「聞く」・「読む」の理解能力、「文字や語彙」、「文法」知識をどのような方法で測るのか、その具体的な方法と留意点をあげました。評価は学習者にも納得のいく方法でなされるべきだという主張のもとに、テストの良し悪しをチェックするための信頼性係数の出し方や、実施結果からそのテストの問題点を探り、改善していく方法をわかりやすく紹介しています。また、テストによる評価に加え、ポートフォリオ評価などテストを使わない評価についても、できるだけ具体的に取り上げました。ついつい先延ばしになってしまっているテストの見直し、早速行ってみませんか？

日本語・日本語教育の研究 —その今、その歴史—

A5判 本文 306 頁 2,940 円
加藤好崇・新内康子・平高史也・関正昭 編著



過去・現在・未来の日本語・ 日本語教育を考える 論文集

東海大学
加藤好崇

長い歴史を持つ日本語教育は今日、ますますその守備範囲を広げています。もちろんそのすべてを俯瞰することはできませんが、本書はこの日本語教育の現在と過去に関わる22本の論考を集めました。

第1部には日本語学・日本語教育研究の今をめぐる10本が収められています。そこ

には「主題」などの日本語学の基礎に関わる論文、ピアリーディングなどのより教育現場に即した論文、さらに異文化接触場面に関わるいくつかの研究が並べられています。

第2部には戦前・戦中・戦後、あるいはそれ以前における国内、「外地」、東南アジア、さらにはヨーロッパにおける言語教育者、教授法、教育機関、教材、文法用語などの日本語教育史・言語教育史に取り組んだ12本の論文が収録されています。

また、巻末には編者の一人である関正昭の「架空対談『20世紀の日本語教育史研究者を発掘する』」を置きました。

本書を手にとって日本語教育の未来を語り合っていれば幸いです。



なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて税込価格です

みんなの日本語中級II 翻訳・文法解説ポルトガル語版 みがけ! コミュニケーションスキル	5月発行予定	1,890円(税込)
中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話	5月発行予定	2,310円(税込)
日本語文法演習まとまりを作る表現—指示詞、接続詞、のだ・わけだ・からだ—	5月発行予定	1,365円(税込)
改訂版毎日使ってしっかり身につく はじめよう日本語初級1メインテキスト	5月発行予定	2,730円(税込)
改訂版毎日使ってしっかり身につく はじめよう日本語初級1ドリルと文法	5月発行予定	1,260円(税込)
改訂版毎日使ってしっかり身につく はじめよう日本語初級2メインテキスト	5月発行予定	2,730円(税込)
改訂版毎日使ってしっかり身につく はじめよう日本語初級2ドリルと文法	5月発行予定	1,260円(税込)
日本語教育叢書「つくる」テストを作る	5月発行予定	1,890円(税込)
日本語・日本語教育の研究—その今、その歴史—	5月発行予定	2,940円(税込)
みんなの日本語初級I 第2版翻訳・文法解説韓国語版	6月発行予定	2,100円(税込)
みんなの日本語初級I 第2版翻訳・文法解説フランス語版	6月発行予定	2,100円(税込)
みんなの日本語初級I 第2版翻訳・文法解説タイ語版	7月発行予定	2,100円(税込)
みんなの日本語初級II 第2版標準問題集	6月発行予定	945円(税込)
日本語能力試験模擬テストN1 (4)	7月発行予定	945円(税込)
日本語能力試験模擬テストN2 (4)	7月発行予定	945円(税込)

40周年記念イベント 「教える」と「学ぶ」をつなぐ—日本語教科書のこれから

当社はおかげさまで今年創立40周年を迎えました。そこで、感謝の気持ちをこめて、日頃お世話になっている皆様とともに日本語教育、中でも当社が扱っている「日本語教科書」について考える機会を設けることといたしました。一緒に「日本語教科書」について基調講演、パネルディスカッションを通して考えてみませんか。大変申し訳ありませんが、会場の関係で、抽選で50名様のご招待とさせていただきます。申込み締切後、当選者に改めてご招待状をお送りいたします。

日時: 2013年7月27日(土) 14:00～18:30

場所: 海外産業人材育成協会東京研修センター

内容:

13:30 開場

14:00 開会

14:30 講演 「日本語教科書の変遷について」
関正昭先生(前東海大学教授)

15:15 休憩

15:30 パネルディスカッション
「日本語教科書の展望と今後の日本語教育」
コーディネーター平高史也先生(慶應大学教授)

17:00 休憩

17:30 交流会

18:30 終了

参加費: 無料

申込み締切: 2013年5月31日(金) 必着

問合せ: TEL: 03-5275-2722

申込み先: スリーエーネットワーク講座係

FAX: 03-5275-2729、E-Mail: kouza@3anet.co.jp
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4トラスティ麹町ビル2F

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-Mail、はがきにてお申込みください。

※当日は書籍の販売も行います。

40周年記念 作文コンテスト募集中です!

40周年を記念して、作文コンテストを実施します。カテゴリーは二つ、「課題作文」と「自由作文」です。ご応募は一人あたり、それぞれ1点ずつとさせていただきます。奮ってご応募ください。

賞品: 大賞…ご希望の当社書籍3万円分

入賞…ご希望の当社書籍2万円分、1万円分

締切: 2013年5月20日(月) 当日必着

応募方法: メールもしくは郵送にてお願いいたします。メールでお送りいただく場合は、PDF形式でお送りください。

住所・氏名・所属を明記してください。

応募先: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2階

スリーエーネットワーク 作文コンテスト宛

sales@3anet.co.jp

問い合わせ: 03-5275-2722

詳細は、当社ホームページをご覧ください。

http://www.3anet.co.jp/40th_top/contest/

皆様のご応募をお待ちしております!



Ja-Net No. 65 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2013年4月25日発行

●発行人 小林卓爾

●発行所 (株) スリーエーネットワーク

営業広報部 Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 日本印刷(株)

© 2013 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁無断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第65号は2013年4月25日発行です。